



主な内容

- みんなで取り組む課題 ----- 2
- お知らせ ----- 3
- 全国部会厚労省要請・交渉 ----- 4
- 最賃要請、南区役所との懇談 ----- 5
- ひろば ----- 6、7
- 一層の国民負担増(消費税10%) --- 8
- 西から東から ----- 9
- 建交労京都支部からの報告 ----- 10
- 行楽(天龍寺境内散策) ----- 11
- 編集後記、まちがいさがし答え ----- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

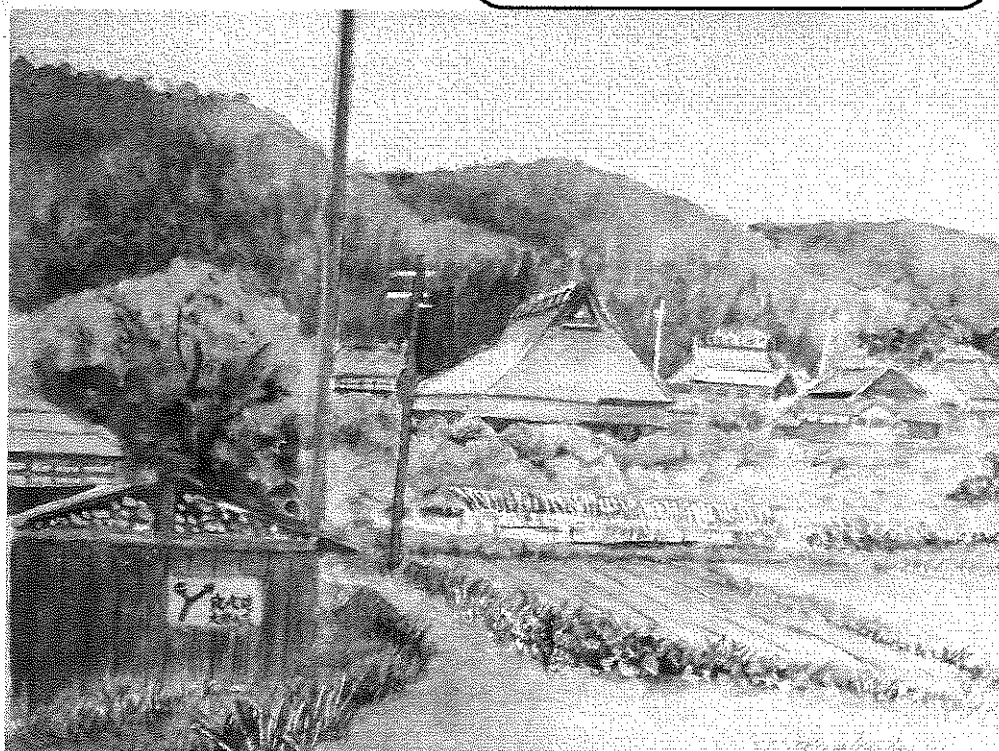
京都市南区上鳥羽仏現寺町 43 番地

TEL 075-691-1007 Fax 075-671-1641

Eメール= kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月5日 一部30円

NO. 269 (2018年) 8月号



おおはら

上林 常哲

お知らせ

争いのない地球を！人が人として生きるため、世代をこえて手をつなごう！

21世紀／第18回 京都高齢者大会

日時：10月20日(土) 午前10時～午後3時30分

場所：ラポール京都(中京区・四条御前)

記念講演：「人生百年時代の新老人」

医師・吉中 丈志さん

(京都民医連・中央病院名誉院長)

まちから村からの連帯で、ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第32回 日本高齢者大会

11月25日(日)～26日(月) 静岡・熱海

建交労京都府本部 女性部第19回総会

日時 2018年9月16日(日) 午前11時～午後2時30分

会場 京都高齢者会館 4階 ふれあいホール

＝ 仲間たちと、お昼はお茶付きの美味しいお弁当を
食べながら、ゆっくりおしゃべりを楽しみましょう。 ＝

熱中症に気を付けて夏をやり過ごそう！

7月の猛暑続きで、作業中に熱中症かと疑われる状況が続いています。熱中症予防には十分な睡眠・休憩と水分の補給が必要です。かかった場合の応急手当は衣服をゆるめ、身体を冷やすこと。首筋や脇の下、股などの動脈が集中する部分を冷やすのが効果的です。そして速やかに病院などに連れて行くことです。

予防策の1つに梅干し水はどうでしょう。水分・塩分補給とともに梅干しのクエン酸が疲労解消の働きをします。



みんなで取り組む課題

京都支部

第9回執行委員会が7月18日に開催されました。

1、京都支部の取り組み

①未加入者への働きかけⅡ京都高齢者福祉事業団の新入団員教育とタイアップして、説明会を開く。

②宇治分会の労使協議Ⅱ7月23日。次回の労使協議は8月20日

③京都支部・第22回定期大会について

日程・10月27日(土) 午前10時～高齢者会館 4階

2、建交労、事業団・高齢者部会の取り組み結果

①京都府本部自治体要請(5人参加)

◇6月28日Ⅱ京都府、6月29日Ⅱ京都市

②全国部会の厚労省交渉Ⅱ7月6日(1人参加)

③府本部戦争法反対・憲法宣伝Ⅱ7月14日(6人参加)

3、建交労、事業団・高齢者部会の取り組み

①中央本部第20回定期大会Ⅱ9月1日～9月3日。群馬・磯部Ⅱ代議員・中村

馬

②全国事業団・高齢者部会第20回総会Ⅱ9月3日。

幹事、代議員・大会参加者が出席。

③建交労京都府本部第20回定期大会Ⅱ9月9日(日) 午前10時～代議員は8人。【執行委員会中心に選出】

④府本部女性部第19回定期総会Ⅱ9月16日(日)

⑤第56回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会

日時Ⅱ10月13日(土)1時～14日(日)正午終了予定

会場Ⅱ三重県松阪市 フレックスホテル

記念講演・講師 木津川 計先生

4、京都総評・最低賃金引き上げを求める請願統一行動の取り組み

7月20日集会後、京都労働局へデモ、要請。京都支部は145名分を集約

5、高齢期運動連絡会の取り組み

①第18回京都高齢者大会

○日時・場所Ⅱ10月20日(土) 10時～ラポール京都

○分科会・講座・「高齢者の仕事と生きがい」京都支部と京都高齢者福祉事業団で受け持つ。

②第32回日本高齢者大会

○日時・場所Ⅱ11月25日(日)～26日(月) 静岡・熱海

○代表派遣のカンパを取り組む。参加者目標Ⅱ2人

●今後の執行委員会開催予定

第10回 8月22日(水)

第11回 9月19日(水)

最低賃金引き上げ求め
デモと個人請願
京都総評＝7月20日



猛暑の中でのデモ

金にすべき」と呼びかけ、また、京都生協パート労組から基本賃金が引き上げるために最低賃金を引き上げる言が重要と発言されました。

労働局前で労働局室長に「生活保護以下の最賃をなくすよう」「暮らせる最賃に引き上げて欲しい」「最賃引き上げのために中小企業への支援策の適用と制度改善、大幅な予算増額を」などと云って「個人請願署名」を提出しました。当日は全体で7600筆を超えた請願が提出されました。京都支部からは145筆を提出しました。

7月20日、京都総評の「京都労働局への昼デモ&個人請願行動」が行われました。当日は、中京区の御射山公園に猛暑の中、昼12時過ぎに集合して集会が開かれました。

りまで市民に「最賃の引き上げを」「政府は中小企業支援策を強めよ」とアピールしながらデモ行進を行いました。



労働局前での請願

事務局から「京都最低賃金審議会」などの動きが報告され、審議会に向けての行動が呼びかけられ、その後、蛸薬師通りから烏丸通りに出て御池通りまで市民に「最

南区役所との要請・懇談

8月3日、建交労京都支部も参加する京都市南社保協と南区役所との懇談会を30人が参加して行われ、懇談会に先立って、井上市会議員から「京都市の社会保障分野の動向」についての学習を行いました。

この懇談会は、国保証未交付による死亡が2件おこった30年前から継続しているもので、今回も国保料の引き下げや生活保護の運用改善、介護保険の充実などの要請書を提出し懇談しました。懇談で



き下げられた」「生活保護の制度上現状について理解を」など、内容によっては不十分な回答も多く、介護保険の実態については答える材料がないと云い、私たちの不安に応えられませんでした。

建交労 全国事業団・高齢者部会
7・6 厚生労働省要請・交渉

介護従事者の
処遇改善に関
する要請書」

▽7月6日 建交労全国事業団・高齢者部会が厚生労働省との要請、交渉を行いました。この交渉には部会幹事と東京、神奈川の組合員が参加しました。京都からは部会の副部会長である中村委員長が参加しました。

△ 予算概算要答』を受けま

7月6日当日の交渉は、衆議院第2議員会館で行われ、厚労省からは、介護の課題と高齢者の課題それぞれに応じた担当部局から係官が参加して行われました。



厚労省への要請書提出 と交渉



建交交渉の歴史

1958年7月に日雇い労働者の労働組合であった「全日自労」が高齢者の就労を求めて、当時の労働省・厚生省との団体交渉権を認められて60年になる。建交労全国事業団・高齢者部会はその受け継いで取り組まれている。

求に向けては「予算の獲得に向けて努めたい」としましたが、保険料と公費と利用者負担については分担ルールを変更するもので慎重に検討していく必要がある。具体的に現状の改善要求については、持続可能な制度としてすすめたい。などの回答でした。意見交換の中で、今の制度を変えないとさらに

矛盾が起こるのではなどの意見も出されていました。

続いて、高齢者の就労などについて行われ、最初に、厚労省担当官から「要請書」に基づいて、それぞれについての考え方の説明を行いました。○高安法5条・36条の具体化は、シルバー人材センターのみとなっており、国や自治体の予算で講じている各種施策を活用してもらいたい。○生活困窮者自立支援については認定事業所は増えてはいるが、優先発注などでは進んでいるとは云えない。意見交換の中で、認定事業所が行う中間就労などについての補助などを考えてもらいたいとの意見に対して、さらに拡大するためにも助成金などの意見を承らせてもらうとの発言をしていました。さらに原子力災害対応事業や日雇労働求職者給付金関係の業務改善などについても話されてきました。

ひろば

「だまされない、あきらめない」国会が終わって
シルバー・西浦公園

山田 俊彦

今度の国会は、市民と野党の共闘で「もり、かけ」疑惑を徹底追及して安倍政権を退陣に追い込もうという事で、私も大いに期待しましたが、結局、疑惑はうやむやにされ、数の力で安倍政権に押し切られてしまった。共闘も限界かとあきらめがよぎった。

しかし、そういう思いで戦争法反対の集会に参加したら参加者から「安倍政権は、次々と目先を変え、国民に自分たちの悪事を忘れさせようとしている。数の力で強権をふるい国民にあきらめさせようとしている。国民の中に様々な分断と対立を持ち込んで、政権の維持を図ろうとしている。」

このような策動に、私たちはだまされない。あきらめない」と力強い決意表明を聞き、私はくじけそうになった気持ちが元

やはり「仲間」は素晴らしい。



平和の重要性を考えよう
京都支部・宇治分会

嘉村 茂

今年も、8月15日の終戦記念日がまもなくやってきました。戦後73年、地球46億年の歴史から見たら、つい最近の出来事です。軍人・一般人合わせて300万人以上の日本人が犠牲になった、一旦戦争になれば正義が正義でなくなる、強い者が弱

い者を征服するそんな世の中を誰も望まない。過去の過ちを反省し、一般市民の代表である国会議員が自衛隊を統制するのがシビリアン・コントロールの筈だが今の自衛隊は、あったことをなかつた報告し、国の役人は、国民の財産である公文書を隠蔽・改ざんし国会では与党が数の力で共謀罪をはじめとする悪法を次々と成立させ、政治が右傾化して行く。このままでもいいのか？ 平和とはなにか？ を問われている様な気がします。もう二度と子供や孫を戦場に送りたくない。

平和を求めて

京都高齢者福祉事業団

松本 恵美子

昨年の7月7日「核兵器禁止条約」が、国連で採択されたことは大きな喜びと感激したものです。私の住んでいる上京では「6・9行動」と云って、原爆が広島・長崎に投下された6日・9日に二条城前において「核兵器廃絶・被爆者国際署名」の取り組みを毎月行っておられ、私も5月6日が日曜日だったので参加し、少しでしたが署名を集めました。

地域の民主団体が「戦争展・バザー」を行いました。その時のお話で、73年前に近くで空襲があり、死者43人も出たと聞きびっくりです。京都の他の場所にもあったそうですが、戦後生まれの私には複雑な思いで聞きました。世界の中には、まだまだ戦争をしている国があるのはいやです。少しでも平和で生きられ、暮らしやすいことを願うばかりです。

「川柳」

京都高齢者福祉事業団・

池田 東一

青竹を 撓らせ泳ぐ 鯉のぼり
刈り取りに ひばりが騒ぐ 麦の秋
雨の粒 サークスしてる 蜘蛛の糸
登校児 舗道一列 傘の花
雨降りが 教えてくれた 傘の穴
石畳 相合傘で 歩く古都
艶歌聴き 掃除ルンバに 任せ切り
苦労坂 越えて夫婦の 味を知る
夫婦風呂 洗い流せぬ わだかまり
心まで 洗い流せば 晴れるのに
宇治川の 葦原ザワワ 風の波
不祥事も 悪気を見せぬ 罪無省
鴨川で 恋を燃やして 夕涼み
海の日 膿を出せるか 安倍総理
完熟の 夕陽呑み込む 日本海

暮らしの知恵袋

◆地震への備え

8月30日～9月5日は防災週間。地震への備えをチェックしましょう。

震度5強ぐらいに揺れると、固定しない家具が倒れたり、補強されていないブロック塀が崩れることがあります。屋内と家の周りをチェックして、後回しにせず対策をとしましょう。家具の転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムなどを買ったものの放置していませんか。つっぱり棒などには装着後も緩んでいないか、ときどき点検しましょう。固定器具を付けて

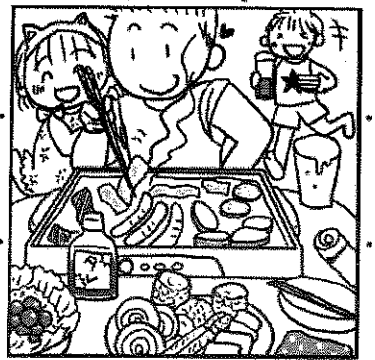
も、転倒する危険性がなくなつたわけではありません。寝室には背の高い家具はできるだけ置かないようにします。

雑然とした部屋は地震の時、危険性が増します。通行を妨げたるものがあったら移動し、足をとられないよう床には物を置かないようにするなど、普段から整理整頓を心がけます。棚などの上に置いてある物はすべて強い地震で落下するものと考えて整理します。テレビ、デスクトップパソコン、置時計などは市販の固定マットを底に貼って落下を防止し、食器棚などの扉には開き戸ストッパーをつけます。

暮らしの知恵袋

まちがいが8カ所。

さて、どこに？ 答えは12ページ



【原稿募集】

趣味、暮らし、仕事等を「ひろば」に書いて下さい。

いつそこの国民負担増 消費税率10%！社会保障削減

▽ 安倍内閣は6月15日「経済財政運営と△
▽ 改革の基本方針（骨太の方針2018）△
▽ を閣議決定。社会保障の削減、消費税率△
▽ 10%への引上げなど国民にいつそこの負△
▽ 担増を求める内容である。

政府はこれまで「財政健全化」として基礎的財政収支の黒字化を2020年度までに実現すると目標を掲げてきた。だが「骨太方針2018」はそれを5年先送りしている。

「財政健全化」ができない最大の要因は、景気低迷による税収減。大企業が利益を伸ばしても、個人消費は伸びない。消費税増税や社会保障削減による負担増、実質賃金の低迷が続くなか当然である。

医療・介護改善で「基盤強化」？

ところが、「骨太方針」は社会保障費を「歳出改革」の重点分野に位置付ける。19、21年度を「財政健全化」

の「基盤強化期間」とし、さらなる自然増の抑制、とりわけ医療・介護の改善を徹底する。「負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化」を掲げて、75歳以上の窓口負担1割を「世代間の公平性や制度の持続性確保の観点から」検討する。つまり負担増の方向だ。財務省の財政制度等審議会は「2割負担」を提起している。高齢者の医療・介護の自己負担について、所得のみならず資産の保有状況を把握して「能力」に応じた負担を求めることや、「現役並み所得」の判断基準の見直しも検討課題としている。

介護のケアプラン作成、多床室室料、軽度者への生活援助サービスの給付も自己負担増の方向で見直す。

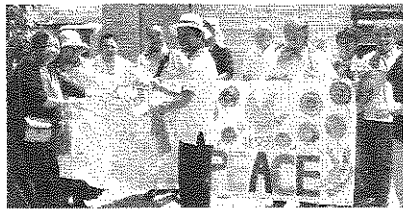
さらに、薬剤費の自己負担引上げ、かかりつけ医以外での外来受診患者の「定額負担」導入、病床削減、公立病院・医療機関の再編・統合、22

年度以降の医学部定員削減等々。財政の「基盤強化」どころか、医療・介護の基盤を破壊しかねない方針である。

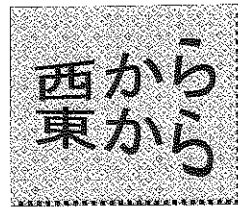
「無償化」名ばかりか

「骨太方針2018」は、幼児教育と高等教育の「無償化」を盛り込んでいる。ただし、2019年10月からの消費税率10%への引き上げが前提だ。3、5歳の全ての子どもと0、2歳の住民税非課税世帯の子どもについて19年10月からの無償化を目指す。ただし、認可外保育施設と幼稚園については上限補助額を超えた分は自己負担になる。

待機児問題が解消されないなか「無償化」とともに、認可施設の増設や保育士の抜本的処遇改善を急ぐべきだ。大学など高等教育の「無償化」も限定的だ。授業料減免・給付型奨学金拡充を、年収380万円未満の世帯を対象に段階的に行う。（宣伝研究から一部引用）



■ 建交労本部・青年部「反核トラックキャラバン」行動
は、22回目となる「反核トラックキャラバン」を取り組み、7月30日に東京都庁を出発し京都に8月1日に入りました。当日の京都は、立っているだけで汗が出る猛暑の中、JR京都駅前ですら市民や観光客に、宣伝カーから「核兵器を廃絶し、恒久平和な日本を実現しよう」「私たち青年の未来には核兵器や原発はいらない」「戦争法」は直ちに廃止をと訴えていました。特に今年は昨年7月に、「核兵器禁止条約」が採択されて1年になり、批准化が



建交労青年部は、22回目となる「反核トラックキャラバン」行動



進んでいる時だけに重要な取り組みとなりました。他の参加者は、「憲法を守りいかそう」のスローガンを刷り込んだタオルを首に巻き、ビラ・テッシュを配布、署名行動を行いました。

■ 学習会「核兵器・平和をめぐる情勢と世界大会の意義」

7月21日に表題の学習会が行われました。

昨年7月に、国連で「核兵器禁止条約」が採択されて1年余り。条約は、人類史上初めて核兵器を全面的に明文上も「違法」とし、今、署名と批准に向けて各国で取り組まれています。日本政府は唯一の被爆国でありながら、その動きに背を向けています。

「核兵器禁止条約」は、いかな



■ 前京都高齢者福祉事業団・専務理事の「衣笠正博さんを偲ぶ会」

7月14日、京都高齢者会館において「衣笠正博さんを偲ぶ会」が、衣笠さんが関わってこられた団体・個人の方たち60人が参加して行われました。参加者の皆さんから衣笠さんの思いを引き継いでいくことと思ひ出を語りあわれました。

年金引き下げ違憲訴訟 京都 新生存権裁判 「年金・生活保護制度を考える集い」

7月28日、表題の「集い」が開かれ「高齢者の課題」で、中村京都支部委員長が報告を行いました。その要旨を掲載します。

建交労京都支部は、全日自労と運輸一般などと組織統一して建交労となり「全日自労」の運動を継承している労働組合です。

国は裕福な高齢者が多いと宣伝しています。しかし、中小・零細企業で30年40年と働いてきた労働者が定年退職しても退職金もなく、年金も12〜3万程度しか得られない高齢者。また、自営業を営み、高齢のため店をたたんでも貯えもなく、国民年金も6万強しか受給できない高齢者。このような高齢者が増えているのが実態です。年金で生活ができなければ、生活保護受給を権利として行使すれよいのかという考えも一

つあると思います。私たちの組合には、働かなければ生活が営めない高齢者が自らが働いて

得た賃金で生活したいという思いの労働者と、より良い介護をめざしている労働者が結集している労働組合です。ですから今も「失業と貧乏と戦争に反対する」と「働きたい高齢者・失業者・求職者にまともな仕事をよこせ」を原点として「社会運動としての事業団運動と公的労務事業の確立」を求めて取り組んでいます。いま、高齢者は国の統計で65歳以上は3465万人を超え、団塊世代の806万人が70歳を超えようとしています。

就労促進をすすめる。などを柱に高齢者の厳しい生活実態や願いに背を向け、高齢者への締め付け施策を打ち出しています。

「高齢者の就労促進」と云う言葉は、聞こえはよいのですが、政府が云っているのは「高齢者が自らの意欲と能力にふさわしく働ける環境を整備」して促進するのでなく、ただ元気な高齢者は働かせようとし、しかも、雇用によらない働き方（ボランティア）による介護支援への導入などを強めようというのです。

いま、若者や主婦だけでなく、高齢者も含めて非正規の労働者が増えています。そのため、健康保険料や年金保険料が払えない実態があり、高齢者の独居世帯も増え、その中で死去される高齢者も増えています。

私たちは、このような社会を転換し、憲法で保障した「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ことのできる社会に変えていくために、多くの団体や個人と共に取り組みを強めたいと思っています。

行楽

天龍寺境内散策

世界文化遺産・曹源池庭園

ワークセンター 中路 米造

嵐電・嵐山駅前バス停の道を北へ少し歩けば天龍寺。総門を入ると、まずその広さに驚きます。

境内を示す矢印を目当てに、奥へ真直ぐ伸びた石畳の道を行います。突き当りの階段の上に見える庫裏（くり）で受付。本堂参拝（300円）、庭園参拝（500円）中に入ると大きく描かれた達磨が迎えてくれました。

○天龍寺は、臨済宗天竜寺派の大本山

京都市右京区嵯峨に位置します。1339（歴応29年）奈良の吉野で亡くなった後醍醐天皇の菩提を弔うために、足利尊氏が夢窓国師を開山として創建されました。

大方丈から書院へ順次庭園を見ながらめぐります。猛暑続きということもあり、観光客の皆さん少々お疲れの様子、堂内の柱にもたれ、縁側など涼しいところで一休みしながら庭園を眺めておられました。次は大方丈から庭に下りて庭園を散策します。

○曹源池（世界文化遺産に登録）

この池は国の史跡・特別名勝第一号に指定されています。夢窓国師によつて作庭され、大きな池の背景に見える左側が嵐山、正面に亀山、小倉山、右側遠景に愛宕山を借景にした池泉回遊式庭園です。

曹源池の名称は、夢窓国師が池の中の泥を上げた時、泥の中から（曹源の一滴）と

曹源池と嵐山



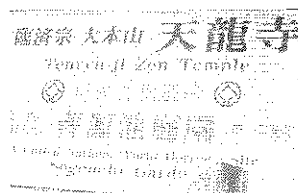
につくしてこれられ、いつの頃からか平和観音と称されるようになりました。

またこの泉は、地下80mから湧き出づる霊泉にして、これを喫する者は「愛と幸を受くる」と伝えられ、愛の泉と称せられています。私も霊泉をいただき「平和と愛・幸」を願って手を合わせてきました。その向こうは、おおいুকすような立派な枝垂桜、そして立派なカエデの庭へと続きます。向かい側には竹林が青々と茂っています。さらに階段を登って行くと天龍寺の大きな屋根が眼下に見えてきます。その向こうに比叡山、東山連峰、京都市街が眺望できる（望京の丘）で素晴らしい眺めです。

○法堂に、釈迦、文殊、普賢の三尊が安置

有名な天井の蓮竜図は、日本画の巨匠、加山又造画伯作で、直径9mの円の中で躍動する龍は、どの方向から見ても目が合う「八方睨み」に描かれている力作です。

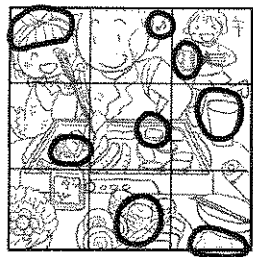
○おすすめは、春には多宝殿を囲む枝垂桜や染井吉野など約100本の桜が咲き誇ります。紅葉シーズンには、池の周囲の約100本のカエデが赤く燃え、いずれも京都有数で見応えがあります。





編集後記

◆通常国会が1カ月近く延長して7月20日に閉幕した。安倍首相は「慎重」「丁寧」の言葉が好きらしく、これでもかというほど国会答弁や記者会見の場で、のたまわっていた。それと「国民の安心と安全を守る」とも言っていた。◆この国会で、長時間労働を助長し、残業しても残業手当が支給されないなどを含む「働き方改革関連法」や賭博を奨励するような「カジノ関連法」などを強行。さらに莫大な費用をかけ、見えない敵を作って「イージス・アシュア」の運用開始を決めた。◆しかし、国民の多くが求める、森友・加計学園問題の隠蔽・改ざんなどは何ら明らかにされず、答弁でもまともに答えず、はぐらかして言い逃れる姿



勢があまりにも露骨で、怒りを呼ぶものであった。◆後半国会の時期は、6月の大阪・北部地震、7月の西日本豪雨、その上台風である。しかも、台風が東から西に向かって吹き荒れた。非常に珍しいとのこと。この災害で、大切な家族がなくなり、家が流され、倒壊してしまい住む家もなく、仕事ができず、田畑が土砂に埋まるという、地球の異常気象が原因だからと片付けられない。◆このような時、政府・与党は何をしていたのか、国民の多くが望まない法案を強行するために画策し、大きな災害で緊急事態が発生しているのに「自民亭」なるところで首相自らが飲み会を行うという危機意識のなさこのような自公政権は許せないと声をあげよう。(中村)